



公開授業・研究協議会を終えて

11月16日(木)、多くの先生方の協力を得て、PT活動の大きな柱の1つであった「公開授業・研究協議会」を開催することができました。校外からも大学の准教授をはじめとして、県内の校長先生や高校教育課、彦根東高校、近隣の中学校・高校の先生にお越しいただき、とても充実した有意義な時間を過ごすことができました。公開授業や研究協議の内容の一部をご紹介します。

国語

授業者…「国語総合」河崎美涼教諭、「現代文B」辻崎千尋教諭



国語総合の授業では、本文に登場する人物の相反する主張のどちらに共感するか、自分の生活をもとに考え、グループワークで意見交換し、さらに600字で自分の考えをまとめました。また現代文の授業では、問いに対する解法を先に生徒に示し、生徒は個別に解答をつくり、その後グループでシェアリングして一つの解答を作る、という活動を取り入れました。分科会では、生徒たちの話し合いで出てくる意見には限りがあり、だからこそ教師の問いかけがより重要になってくる、という指摘がありました。

社会

授業者…「現代社会」相道孝志教諭、久島 裕教諭
「世界史B」田中寿和教諭、室井浩貴教諭

現代社会の相道先生の授業は討論のテーマを身近なところから設定し、議論が広がる工夫がなされていました。久島先生はICT機器を生徒に活用させるという授業にチャレンジしました。



世界史の2講座は、「ローマ教会」「十字軍」という教材から生徒に深く思考させる資料を提示し、授業を展開しました。分科会では「深く学ぶ」とはどういうことかについて意見が交わされ、「学習意欲が高まり、次の授業にも興味がつながっていく」こと、「自分の考えとは違う他人の考えを知り、自分の思考が深まる」ことの大切さを確認し合いました。

英語

授業者…「コミュニケーション英語I」鈴木和堯教諭

「ICTを活用して深い学びを旨とする」という目標を掲げて、本文をプロジェクターで写しだし、強調するポイントをクローズアップして説明しました。板書するより時間が短縮され、説明したり考えさせたりする時間を多くとれるという狙いでした。分科会では、「ICTを活用すると情報は通常より増えるので、生徒は受け身になりやすい。ノートをとらせたり、じっくり考えさせる時間を確保すべき」という助言があり、ICTの活用のある方を考える良い機会となりました。



全体協議会



生徒につけたい、育てたい資質・能力、すなわちT(思考力)K(知識)F(情熱・行動)について、藤澤校長が説明しました。教員が共有して授業改善や教育課程、SSH、諸活動を進めていくという指針を紹介しました。その後PTリーダーの辻崎教諭から、これまでの授業改善のための授業実践例を紹介し、PTの活動内容を職員会議で共有している旨を報告しました。

数学

授業者…「数学A」竹林亜紀教諭、「数学Ⅲ」今川大輔教諭

数学Aはプチジグソー法を取り入れた授業。班ごとに2つの問題の担当を決めて解答させ、同じ問題ごとに集まって解法を深め、班に戻ってフィードバックしました。数学Ⅲでは、教科書の基本を理解すれば難しい問題でも解けることに気付かせることを意識した授業。分からない時は具体的な数字を代入して解答をイメージさせました。分科会では、数学における深い学びは、グループワークだけではなく、問題選定や課題設定も重要である、という認識を共有しました。



理科

授業者…「化学基礎」谷口 溪教諭、「理数物理」小原崇裕教諭
「地学基礎」本田千晶教諭

地学は気象画像と天気図を比較して傾向を読み取り、ペアワークで意見交換しました。物理ではドップラー効果を用いた測定実験の方法を自分たちで考えてジグソー形式で発表しました。化学では計算式で得られる答えと、実験で得られる答えを結び付けて考え、実験結果が良い場合と悪い場合の原因を考察しました。分科会では、グループワークを活発にする方法について話題となりました。また中学校の先生より、化学を暗記科目にしない工夫の例の紹介があり、中高の指導方法のつながりにも話題が及びました。



家庭

授業者…「家庭基礎」角正康弘教諭

親の役割を考えさせる授業。4つのタイプ(支配・否定・保護・放任)から育った子どもはどのように育つのか。皿を割ったという場面を設定してロールプレイングを取り入れました。高校生の視線から、親のあるべき姿を考える良い機会となり、生徒たちは生き生きと取り組んでいました。



ひとりごと 「深い学び」とは何か…。研究協議の中であらためて考える機会を得ました。結局のところ、授業を終えた時に生徒が「もっと学びたい」と思うことができれば、それが「深い学び」の第一歩だということなのでしょう。使い慣れないICT機器に戸惑いつつ、生徒の協力もあり、なんとか公開授業を終えることができました。